

部・次長会議 要約会議録

- 日時：平成 24 年 5 月 1 日（火）8：00～10：00
- 場所：名寄庁舎 3 階会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

- ・ 各部局で担当する各種総会等について早い時期に開催をお願いする。また、それらの際は、市民と積極的に交流し、市民・行政双方の課題を持ち寄ってほしい。
- ・ （仮称）市民ホールの座席数・形状等基本設計について市の考え方を議員協議会で説明した。これから市民に説明する機会を設けていきたい。また、建設が進んでいる名寄駅横の（仮称）複合交通センターと連携させ、多くの人を街中への誘導し、賑わいづくりのためソフト面での工夫をお願いしたい。
- ・ 本日、オール名寄で観光振興やまちPRをめざす名寄市観光交流振興協議会を設立する。観光はもちろん、あらゆる地域振興につながるものであり、まずは庁内でオール名寄の取り組みをお願いしたい。
- ・ 杉並区では基金を活用した次世代育成施策として、子どもを冬の名寄に連れてきたいとの話がある。中心は教育委員会となるが、各部局で連携してチャンスを活かしてほしい。
- ・ 杉並区をはじめ毎朝各課で5分程度のミーティングを行っている自治体がある。業務内容の共有や協力の意思疎通を目的に名寄市においてもすでに行っている部署もあるが、できれば全課で取り組んでほしい。

3 市長・副市長の動静（別紙）

教育委員会関係行事予定（別紙）

- ・ 市長、副市長の動静及び教育長の動静について連絡がありました。

4 協議事項・報告事項

（1）市政への要望【No. 40】

- ・ 要望書の提出があった件について、担当部局から報告がありました。

No	受付番号	件名	受付年月日	要望者	担当部課
1	40	名寄市風連日進小中学校閉校についての要望書	H24.3.23	名寄市風連日進町内会長 高橋 幸廣 名寄市立風連日進小中学校PTA会長 飯村 規峰	教育部 学校教育課

（2）平成 23 年度第 3 回定例会における検討事項の処理顛末について【健康福祉部・教育部・市立病院】

- ・ 平成 23 年度第 3 回定例会における各議員からの質問に対する検討事項の処理顛末として、次の 3 件について、担当部局から報告がありました。

No	件名	担当部
1	<p>○市立保育所の給湯設備の設置をお願いしたい。</p> <p>智恵文保育所給湯設備については、平成 24 年度智恵文支所改修時に設置する（工事完成予定 10 月末日）。砺波保育所給湯設備については、既存の瞬間湯沸かし器を活用し、工事の準備を進めている（工事予定 8 月）。市立保育所給湯設備については、平成 24 年度予算で計上し、工事の準備を進めている（工事予定 8 月）。</p>	健康福祉部
2	<p>○児童生徒に対して防災教育へ、東日本大震災の教訓を生かせないか。</p> <p>各学校では、身近な災害である学校火災の避難訓練時には、東日本大震災の教訓から素早い行動の必要性などの講話を行い、平成 23 年 9 月の台風では、学校行事における安全管理の事前会議をいち早く招集している。日常の中から危険の予知や安全で柔軟な対応、保護者との連携強化など危機意識を高め、地域で考えられる災害の心構えを新たにしている。</p> <p>しかし、個別の「安全指導計画」や「危機管理マニュアル」の見直しまでには至っていないため、各学校で危機管理マニュアルなどの見直しの指導を継続する。</p>	教育部
3	<p>○医師・看護師の勤務状況などを理解してもらうために、住民対象の情報発信、懇談会等を開催してはどうか。</p> <p>昨年のまちづくり懇談会で、外科系医師の平均的な勤務状況、救急外来等の実態を説明し理解を求めた。今後も、説明等の機会を持ちたい。</p>	市立病院

(3) 平成 22 年度会計・決算特別委員会における検討事項の処理顛末について【総務部・経済部・健康福祉部・教育部】

- ・平成 22 年度会計決算委員会における各議員からの質問に対する検討事項の処理顛末として、次の 5 件について、担当部局から報告がありました。

No	件名	担当部
1	<p>○職員研修として職員の資質向上のためにも自主研修を積極的に実施すべき。</p> <p>自主研修を行うにあたって、組織（グループ）づくりが必要であることから、職員提案（ゼロ予算事業等を含む）の活性化と合わせて本年 8 月に、政策形成研修（外部講師）を開催して職場環境の整備を行う。</p> <p>また、自主研修とは異なるが本年から東京都杉並区で行われるアスパラ祭りの参加についても 1 名を公募して職員研修として派遣を行う。</p> <p>自主研修活動への支援については、行財政改革の関係もあり経費を削減してきているが、組織のスリム化により職員の資質の向上が急務であるとの認識を持って今後の対応について、平成 25 年度予算編成時までに方向性を出していく。</p>	総務部
2	<p>○市有林間伐、下刈等の事業における契約はどうなっているか。（随意契約の理由） 民間参入すれば工事価格も下がるので、検討を要請する。</p> <p>・近隣の状況 土別市等で入札を行なっているが、公的に歩掛や単価を示すものがなく、設計に苦慮している実態にあるが、今後入札方式により民間参入を行なう市町村が増えるものと考えており、さらなる研究が必要。</p> <p>・設計・施工管理の体制 現行どおりとする。（直営は厳しい、専門職が必要）</p> <p>・入札とすべき事業の範囲及び業者実績の把握と指名基準の策定 道補助を受ける施業は、森林組合が作成する、森林経営計画と一体となっており名寄市では、市有林管理委託も森林組合に行なっているところから、現状では、森林組合以外に発注することは難しい。 市内林業事業者は、指名に入っていないので 130 万円以下の単費施業であれば、見積もり合わせによって設計・発注が可能である。発注額が高額となる補助事業に関しては難しく、民間に発注できる事業は、林道工事に伴う除伐等しか無い。</p>	経済部

3	<p>○敬老事業の対象者の参加状況と実施団体の経費負担状況について、実態の把握をどうおさえているのか。新たな内容に見直す時期ではないのか。市内4つの公設老人クラブの必要性について検討は。</p> <p>敬老会事業及び敬老会への助成事業を取り組んでいないのは35市中7市となっています。平成23年度敬老事業実施状況については、86町内会等の内83町内会等で実施され対象者は4,871名、参加者は3,741名、参加率は76.8%で、町内会等の負担割合は44.8%となっております。実績を踏まえて町内会連合会正副会長と懇談会を開催し、意見を伺った結果、町内会の主要な事業であり交流の場となっているため、継続を望む意見が多かったことから、当分の間は現行の敬老事業の継続を考えています。</p> <p>公設老人クラブを開設しているのは、35市中5市（直営3市・指定管理2市）である。</p> <p>昨年の10月に公設老人クラブ会長会議を開催し、利用状況及び今後の展望について懇談し、会員が半減しているという事実もあることから、今後は、新・名寄市行財政改革推進計画（後期）により、統廃合に向け引き続き会長会議等を開催し協議していきます。今年に入り4老人クラブの総会等に出席して懇談をさせていただきましたので、意見を集約して会長会議を開催（6月予定）します。</p> <p>また、利用町内会長との懇談会を実施してまいります。</p> <table border="1" data-bbox="236 745 802 936"> <thead> <tr> <th></th> <th>現会員数</th> <th>建築年</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1老人クラブ</td> <td>24人</td> <td>S39建</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2老人クラブ</td> <td>16人</td> <td>S33建</td> <td>→ H7建替</td> </tr> <tr> <td>第3老人クラブ</td> <td>39人</td> <td>S48建</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北老人クラブ</td> <td>41人</td> <td>S54建</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>120人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>市の基本的な考え</p> <ol style="list-style-type: none"> 各町内会で老人クラブが設置されたこと及び連合会が組織されたことにより当初の目的はある程度達成した。 一番老朽化の激しい第1老人クラブの建て替えは予定しない。 今後も会員の増加が見込めないことから、町内会に老人クラブがない人達等の対応については、将来4施設の統廃合を実施しても可能と考える。（当面は第1→第2へ） 		現会員数	建築年		第1老人クラブ	24人	S39建		第2老人クラブ	16人	S33建	→ H7建替	第3老人クラブ	39人	S48建		北老人クラブ	41人	S54建		合計	120人			健康福祉部
	現会員数	建築年																								
第1老人クラブ	24人	S39建																								
第2老人クラブ	16人	S33建	→ H7建替																							
第3老人クラブ	39人	S48建																								
北老人クラブ	41人	S54建																								
合計	120人																									
4	<p>○スポーツセンター入口にはスロープがあるが、アリーナの2階には上がれない。その辺りを検討したことがあるのか。総合計画の後期計画に入っているのか。障がい者や高齢者が利用し易いよう改善すべき。</p> <p>スポーツセンターのアリーナ2階に車椅子で上がるためには、階段に昇降機を設置するだけではとまらず、上り口での場所の確保も必要と思われ、構造的に大規模な改修が予想される。本年度中に改修に係る経費の算出を行い、その内容により今後の取扱いを検討する。</p> <p>他のスポーツ施設の障害者対応の改善については、後期計画中に実態調査を行い、改修計画を立てることとする。</p> <p>また、障がい者で希望する方への配慮を検討する。</p>	教育部																								
5	<p>○市民スキー大会は、競技の内容の検討の時期にきている。競技経験者が入賞して参加してもつまらないとの意見も聞く。もっと参加者が楽しめる様、イベント色を入れた方がいいと思う。</p> <p>平成23年度実施の第33回市民スキー大会は、名寄地方スキー連盟・名寄振興公社などの関係団体と協議の上、スポーツ推進審議会及びスポーツ推進委員会にも諮りながら競技性を抑え気軽に参加できる内容としたが、レクリエーションの参加延べ数は増えたが競技種目の参加実数は増加には至らず、再度、事業の存続を含め検討する時期にきていることを認識している。</p> <p>本年実施予定のスポーツ意識・実態調査の結果を参考に今後の取扱いを検討する。</p>	教育部																								

5 連絡事項・その他

- (1) 「新・名寄市行財政改革推進計画（後期基本計画）」等の内容説明及び組織機構見直し等による人員配置計画策定に向けての職場会議の開催について【総務部】
- 「新・名寄市行財政改革推進計画（後期基本計画）」等の内容説明及び組織機構見直し等による人員配置計画策定に向けての職場会議の開催について周知と依頼がありました。

- (2) 平成 24 年度行財政改革実施に伴う各種調書の作成依頼について【総務部】
- ・ 平成 24 年度行財政改革実施に伴う各種調書の作成について依頼がありました。
- (3) 平成 23 年度職員提案（ゼロ予算事業等）の実績報告及び平成 24 年度職員提案（ゼロ予算事業等）の事業計画の提出について【総務部】
- ・ 平成 23 年度職員提案（ゼロ予算事業等）の実績報告及び平成 24 年度職員提案（ゼロ予算事業等）の事業計画の提出について依頼がありました。
- (4) 平成 24 年度男女共同参画推進計画ワーキンググループメンバーの選考について【総務部】
- ・ 平成 24 年度男女共同参画推進計画ワーキンググループメンバーの選考について依頼がありました。
- (5) 杉並区広報への記事掲載について【総務部】
- ・ 杉並区広報への記事掲載について連絡がありました。
- (6) 道教委「学校力向上に関する総合実践事業」について【教育部】
- ・ 道教委「学校力向上に関する総合実践事業」について説明がありました。

6 各部署の懸案事項

- ・ （仮称）複合交通センターについて、今後名称や維持管理等について検討する。また、併せて同センターオープン後の市民会館の運営についても検討する。（仮称）市民ホールと同様に今後庁内プロジェクトチームを設けて検討を進めたい。
- ・ 急激な気温上昇により天塩川と名寄川の水位が急激に上昇した。4 月 27 日に内淵と智恵文の堤内排水の水位上昇により耕地が冠水、天塩川本流の水位上昇により市道日進智東線を通行止めとした。通行止めについては本日解除する。智北では排水機が稼働せず、隣接する畑に所有者の許可を得て土嚢を積んで対応した。後日顛末を報告する。
- ・ 名寄のマスコットキャラクターに 351 人 512 点の応募があり、うち市外の方から 290 人の応募であった。現在選考中である。

7 閉 会

- ・ 川の水位上昇に際して、市防災担当、建設水道部と建設業者も連携して適切に対応いただき、感謝を申し上げる。